

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/11/14号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 改めて需要不安が上値圧迫

NY原油先物相場は、1バレル=93.74ドルまで値上がりして8月30日以来の高値を更新した後、80ドル後半まで下落した。供給不安を背景に戻り高値を更新したが、その後は需要不安にテーマシフトが進み、84.70ドルまで急反落した。株高、ドル安環境ながらも90ドル台維持に失敗している。ただ、週末を前に中国で新型コロナウイルスの規制緩和が伝わると押し目買いが入り、89ドル水準まで切り返した。

中国で新型コロナウイルスの感染被害が拡大する中、改めて需要不安を織り込む形で急落した。行動規制強化の動きが報告されたことで、需要リスクの織り込みが優勢になった。しかし、11月11日に中国政府がゼロコロナ政策に基づく入国規制の緩和措置などを発表したことで、石油需要環境に対するショックは従来想定されていた程には大きくなるとの見方が強まると、安値から大きく切り返している。一時90ドル台も回復しており、大きく値を崩すことはなかった。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (11月4日時点) は、原油が前週比393万バレル増、ガソリンが90万バレル減、石油精製品が52万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需要不安の織り込み一服だと、90ドル台での取引に回帰

需要不安と供給不安が交錯していることで、一本調子の値動きにはなりづらい。数日単位で供給不安で買われ、需要不安で売られる展開が繰り返されている。今後も同様の相場展開が基本になるが、需給引き締め圧力は徐々に強まる見通しであり、押し目買い優勢の展開が維持されよう。

中国の需要リスクに対する関心が高く、新型コロナウイルスの感染拡大が報告され、大規模な行動規制導入がみられると、改めて上値を圧迫されるリスクはある。ただ、ゼロコロナ政策は規制レベルを従来よりも引き下げる見通しであり、原油相場を大きく崩す程の影響は想定する必要性が乏しくなっている。11月14日に石油輸出国機構（OPEC）、15日に国際エネルギー機関（IEA）の月報が公表される。需要サイドのリスクをどの程度織り込むのかにも注目したい。

一方、供給サイドのリスクは高めの状態が続く。11月から石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産対応が始まっている。米国が強く反発しているが、現状では政策修正の可能性は低い。実際の減産量については不透明感もあるが、日量100万バレル規模の減産は想定しておく必要がある。

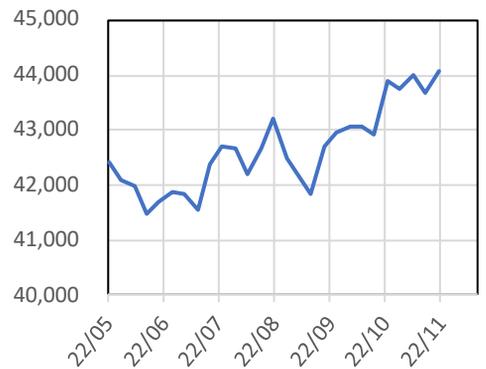
また、12月5日までは主要7カ国（G7）などがロシア産石油価格上限設定の詳細を詰める見通しになっている。欧州連合（EU）によるロシア産石油の禁輸措置も控えており、供給サイドの要因から需給が引き締め易い環境に変化は見られない。改めて需給ひっ迫リスクを織り込む動きがみられるのが焦点になる。米利上げ警戒感の後退から、ドル安・株高圧力が強くなっていることもポジティブ。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



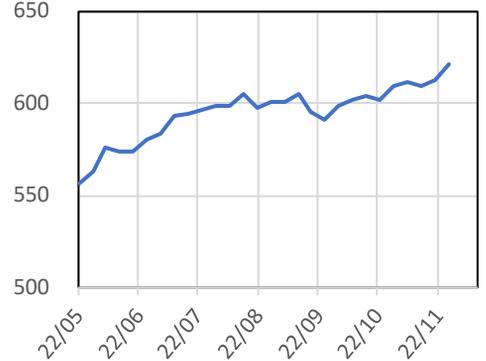
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

